果実成熟時期を左右する番花・開花期およびエテホン処理がニホンナシ‘あきづき’と‘王秋’コルク状果肉障害に及ぼす影響

日本語タイトル（MSゴシック体、中央寄せ）

日本語著者名（中央揃え）。著者名は中点で区切る。責任著者は\*（アスタリスク）で示す。

1頁目は表紙です。

日本語フォント：MS明朝体（11ポイント）

英語フォント：Times New Roman体（11ポイント）

「，」および「．」を用い、「、」および「。」は使用しない。

（空白行）

園芸　優1・学会花子2a・研究次郎3\*

（空白行）

日本語住所（中央揃え）

1○○大学大学院生物資源科学研究科　012-0011　○○県△△市□□町

2農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門　305-8605　茨城県つくば市藤本

3△△大学農学部　606-0001　京都市○○区○○町

市名が都道府県名と同一の場合は市名から記載

（空白行）

**Effects of Flower Position, Flowering Time, and Ethephon Treatment, which Affect the Fruit Maturation Time, on the Cork Spot-Like Disorder of Japanese Pear ‘Akizuki’ and ‘Oushuu’**

英語タイトル（Times New Roman体、太字、中央寄せ）。

Suguru Engei1, Hanako Gakkai2a and Jiro Kenkyu3\*

*1Graduate School of Life and Environmental Science, Marumaru University, Sankakusankaku, Marumaru 012-0011*

*2Institute of Fruit Tree and Tea Science, NARO, Fujimoto, Tsukuba, Ibaraki 305-8605*

*3Faculty of Agriculture, Sankakusankaku University, Marumaru, Kyoto 606-0001*

（空白行）

英語著者名（Times New Roman体、斜体、中央寄せせ）

201x年XX月XX日　受付．　201x年XX月XX日　受理．

本研究の一部はJSPS科研費12345678の助成を受けて実施した．

本報告の一部は園芸学会平成24年度春季大会および平成26年度秋季大会で発表した．

\*Corresponding author. E-mail: AbcdEfgh@abcd.ac.jp

a現在: ○○研究所

研究実施時から所属が変更された場合に所属名称を記載。新たな所属住所は責任著者の場合のみ記載。

行数を調整して論文タイトルから脚注までを1ページに収める

**Abstract**

Abstractから5行ごとに行番号を全頁通し番号で記載する。

Times New Roman体、太字（中央寄せ）。

To clarify the relationship between the occurrence of a cork spot-like disorder and the maturation time of fruit in the Japanese Pear (*Pyrus pyrifolia*) ‘Akizuki’, the effects of the flower position and flowering time on the occurrence of this disorder were investigated. The fruit from the sixth to eighth flowers in a flower cluster matured later and displayed more cork spots than those from the second to fifth flowers…….

Times New Roman体（太字）

改行なしで一行65文字を目安に作成。

250words程度。

（空白行）

**Key Words**: fruit size, maturing time promotion, physiological disorder, plant growth regulators

（空白行）

アルファベット順

MSゴシック体

キーワード：熟期促進，果実重，生理障害，植物生育調節剤

アルファベット順

（空白行）

緒　言

MSゴシック体（中央寄せ）。

　○○○○○○・・・・・．

（空白行）

材料および方法

Abstractから頁番号を記載。

MSゴシック体（中央寄せ）。

1．‘あきづき’における障害（副見出し）

MSゴシック体（左寄せ）。

MSゴシック体（左寄せ）。

1. 地域別（細目別記号）

MSゴシック体（左寄せ）。

* 1. 種類（細目別記号）
	2. 頻度（細目別記号）

MSゴシック体（左寄せ）。

2．‘王秋’における障害（副見出し）

・・・・・

（空白行）

MSゴシック体（中央寄せ）。

結　果（「結果および考察」とまとめても可）

1．‘あきづき’における障害（副見出し）

MSゴシック体（左寄せ）。

1) 地域別（細目別記号）

(1) 種類（細目別記号）

(2) 頻度（細目別記号）

MSゴシック体（左寄せ）。

2．‘王秋’における障害（副見出し）

・・・・

（空白行）

MSゴシック体（中央寄せ）。

考　察

　○○○○○○・・・・・．

（空白行）

摘　要

MSゴシック体（中央寄せ）。

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・．

謝辞を記載する場合は摘要の次行から（左寄せ）。見出しはMSゴシック体。

謝　辞　○○の・・・・・・・・感謝します．

（空白行）

全角1字空白1）。

MSゴシック体（中央寄せ）。

引用文献

全角1字空白）。

Hirai, M., T. Ochiai and A. Kanno. 2010. The expression of two *DEFICIENCE*-like genes was reduced in the sepaloid tepals of viridiflora tulips. Breed. Sci. 60: 110-120.

稲葉昭次. 2003. 野菜のポストハーベスト. p. 152-190. 矢澤　進編著. 図説野菜新書. 朝倉書店. 東京.

Krasutsky, P. A. and V. V. Nesterenko. 2007. Process for extracting compounds from plants. United States Patent 7198808.

Rollins, H. A., F. S. Howlett and F. H. Emmert. 1962. Factors affecting apple hardiness and methods of measuring resistance of tissue to low temperature injury. Ohio Agr. Expt. Sta. Res. Bul. 901.

Soeranto, H., T. M. Nakanishi and M. T. Razzak. 2003. Mutation breeding in sorghum in Indonesia. p. 159-165. In: Y. Hayashi, S. Manuwoto and S. Hartono (eds.). Sustainable agriculture in rural Indonesia. Gadjah Mada Univ. Press, Yogyakarta, Indonesia.

図表のタイトル

「図表のタイトル」は採択原稿で、引用文献の後に改頁して作成。

第1表　‘あきづき’の開花日・番花が果実品質およびコルクの発生に与える影響

第2表　‘あきづき’へのエテホン散布が果実品質および果肉障害の発生に与える影響

第1図　‘あきづき’の開花日・番花と収穫日との関係

第2図　‘あきづき’の収穫日別コルク状果肉障害発生程度